

東日本大震災によって、ライフラインの一つである水の確保が問題となりました。同時に、社会全体の水に対する関心は高まりを見せています。水ビジネスの中で、成長分野にあげられる宅配水ビジネスに焦点をあてながら、さらなる市場拡大に向けた課題とは何か、「安全性」、「環境性」など様々な角度から議論していきます。

**【日時】 8月1日(月) 13:00~16:00 (開場12:30)**  
**【主催】 日本経済新聞社**  
**【協賛】 ナック**  
**【後援】 環境省 / 日本宅配水協会 (JBWA) / 水の週間実行委員会**

プログラム

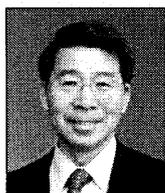
13:00-13:05 主催者挨拶

13:05-13:45

基調講演

「世界と日本の水資源～水は国家の安全保障～」

吉村和就氏 (グローバルウォーター・ジャパン代表 国連本部テクニカルアドバイザー  
水の安全保障戦略機構・技術普及委員長)



(よしむら・かずなり) 長年、大手エンジニアリング会社に営業、開発、市場調査、経営企画に携わり、環境分野ではゼロエミッション (廃棄物からエネルギーと資源創出) 構想を日本に広げた。国の要請により国連ニューヨーク本部に勤務、環境審議官として発展途上国の水インフラの指導を行う。またISO/TC224の日本代表として、日本提案をISOに登録させた。

日本を代表する水環境問題の専門家であり、国連本部勤務の経験も踏まえ、日本の環境技術を世界に広める努力を続けている。その間多くの講演 (英語、日本語) をこなし、また、関連業界紙や専門誌に数多くの寄稿をしている。最近では、水の安全保障戦略機構・技術普及委員長、経済産業省「水ビジネス国際展開研究会」の委員も務めている。

13:45-14:25

特別講演

「宅配水ビジネスの可能性」

寺岡豊彦氏 (ナック 代表取締役社長)



(てらおか・とよひこ) 1952年京都府生まれ。早稲田大学法学部卒。弁護士の道を志していた時期にナック創業者 (現会長・西山由之氏) と出会い、「会社を大きくして、世の中の人をたくさん幸せにしたい」という会長の言葉と熱意に心動かされ入社。中小企業から上場企業までの成長を自ら経験する。2004年株式会社ナック代表取締役社長に就任。06年日本ボトルウォーター協会設立、代表理事就任 (2011年日本宅配水協会に名称変更)。現在、株式会社レオハウスの代表取締役社長も務める。

14:25-14:40

休憩

14:40-16:00

パネルディスカッション

「今、ますます注目される宅配水  
～その魅力を安全面、環境面から考える～」

唐木英明氏 (日本学術会議副会長 東京大学名誉教授 元東京大学アイソトープ総合センター長)

宮下 洋氏 (経済産業省 商務情報政策局 製品事故対策室 室長補佐)

沼田正樹氏 (環境省 廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室 室長補佐)

岡崎 稔氏 (日本宅配水協会 <JBWA> 理事)

●コーディネーター / 白石真澄氏 (関西大学 政策創造学部 教授)

利便性、安全性や健康志向で急成長する宅配水市場

本格化する宅配水ビジネス



(からき・ひろし) 1964年3月東京大学農学部卒業。87年4月東京大学教授 (農学部獣医薬理学講座) 就任。99年4月東京大学アイソトープ総合センター長、2000年7月日本学術会議会員 (～現在) 03年4月東京大学名誉教授。03年7月日本学術会議第六部 (農学) 副部長 (～05年9月) 就任。05年10月日本学術会議第二部 (生命科学) 副部長 (～06年9月)、06年10月日本学術会議第二部 (生命科学) 部長 (～08年9月) を経て、08年10月より現在まで日本学術会議副会長 (国際担当)。その他、内閣府食品安全委員会専門委員、食の信頼向上をめざす会会長を務める。主な研究分野は、農学基礎・細胞内情報伝達機構、とくにカルシウム経路の研究 (平滑筋作用薬の研究 生物・食品由来の生体活性物質の研究 食品・医薬品の安全性に関する研究) など。



(みやた・ひろし) 1985年3月中央大学法学部卒業後、経済産業省入省。国際企業課、欧州課、原料紡績課、JOGMEC、消費経済課、安全保障貿易管理課、博覧会推進室、情報公開推進室、資源エネルギー庁石炭課等を経て、2010年4月より現職。



(おがざき・みのり) 元東京大学非常勤講師、元栗田工業株式会社常務取締役、開発本部長。現在は一般社団法人日本宅配水協会理事。イオン交換、逆浸透膜、精密ろ過膜などによる純水・超純水、排水処理・再利用の開発、育成を長年手がけ、研究発表論文多数。



(ぬまた・まさき) 2000年3月慶應義塾大学経済学部卒業後、環境庁入庁。00年4月～01年6月環境庁大気保全局企画課、01年7月～03年3月環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課、03年4月～05年6月環境省水環境部企画課法令係長、05年7月～07年7月環境省水・大気環境局総務課法令係長、07年8月～10年6月環境省総合環境政策局環境影響評価課課長補佐を経て、10年7月より現職の環境省廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室室長補佐に就任。現在に至る。



(しらいし・すみ) 1987年関西大学工学研究科修士課程終了、西武百貨店で店舗開発に従事した後、90年からニッセイ基礎研究所、都市開発部および社会研究部門において調査・研究に従事。2002年4月から東洋大学助教授、教授を経て、07年4月より現職。専門テーマは「バリアフリー」[少子・高齢化と地域システム]。これまでの公職に安倍内閣の教育再生会議委員、規制改革・民間開放推進会議委員、構造改革特区推進本部評価委員 (いずれも内閣府)、社会資本整備審議会および交通政策審議会 (いずれも国土交通省) など。